

# ダンス専門部・熱中症対策ガイドライン

危機管理委員名  
(所属校名)

今井 千尋  
佐野日大高等学校

## 熱中症対策

### 事前の対策

- 大会会場の空調設備使用許可の確認
- 顧問会議時に栃高体連危機管理マニュアルに基づく運営フロー及び緊急時対応計画(EAP)を周知徹底する。
- 練習等では、通風・換気・水分補給・運動量・休憩など熱中症の予防に努める。また体調不良や頭痛、手足しびれなどの症状が熱中症を疑う症状を見逃さず、重篤になる前に休憩・水分や電解質(塩分)の補給・熱放散など早めに対応する。

### 大会／試合時の対策（当日の対応）

- WBGT計の配布・検温（ $28^{\circ}\text{C}$ ～ $31^{\circ}\text{C}$ 以上の時はアナウンスで注意報や警報を発信する）
- 会場の整備(空調設備の確認)
- 万が一熱中症等が発生した場合は、重症度を判断しEAPを活用し瞬時に対応する。

### 重症度（救急搬送の必要性）を判断するポイント

- ・意識がしっかりしているか？
- ・水を自分で飲めるか？
- ・症状が改善したか？

### 参考文献

- ・文部科学省「武道・ダンスにおける安全対策」
- ・環境省「熱中症環境保健マニュアル」